



今回は、日本現代詩歌文学館（館長 高野ムツオ（主催の「第十九回俳句まつり」における本校生徒の俳句入選作品と、「令和四年度岩手県高等学校文芸コンクール」短歌部門において入選した短歌を御紹介）します。

俳句

優秀（2位相当）

すいか割り外れる私を笑う空

二年 千田悠莉（ちだゆうり）さん

選評（小林輝子）

水瓜は秋の季語ですが、水瓜割りは夏の季語です。水瓜を割ることができなかった作者。空を見上げたら、空が笑っているように感じたのでしょうか。てらいのない一句。

佳作

ひまわりと並ぶ僕らはまだ未熟

二年 浅沼 樹（あさぬまいつき）さん

花火しよう！嫌がる祖父にねだる孫

二年 高橋姫織（たかはしひおり）さん

短歌

入選

黒板のなかなか消えないチョーク跡消えない字ほど熱意伝わる

三年 氏家花凜（うじいえかりん）さん

夕方の涼しい風を感じながら必死に踊り汗水流す

帯をしめやる気を出して演舞する仲間と共に全国目指す

入選

鳴り響く太鼓の音と笛の音心落ち着く鬼剣舞部

一年 菊池奈々（きくちなな）さん

鬼剣舞同じフリでも何か違う先輩たちの圧巻舞台

一年生発表間近で猛練習刃がたくさん鬼剣舞部

